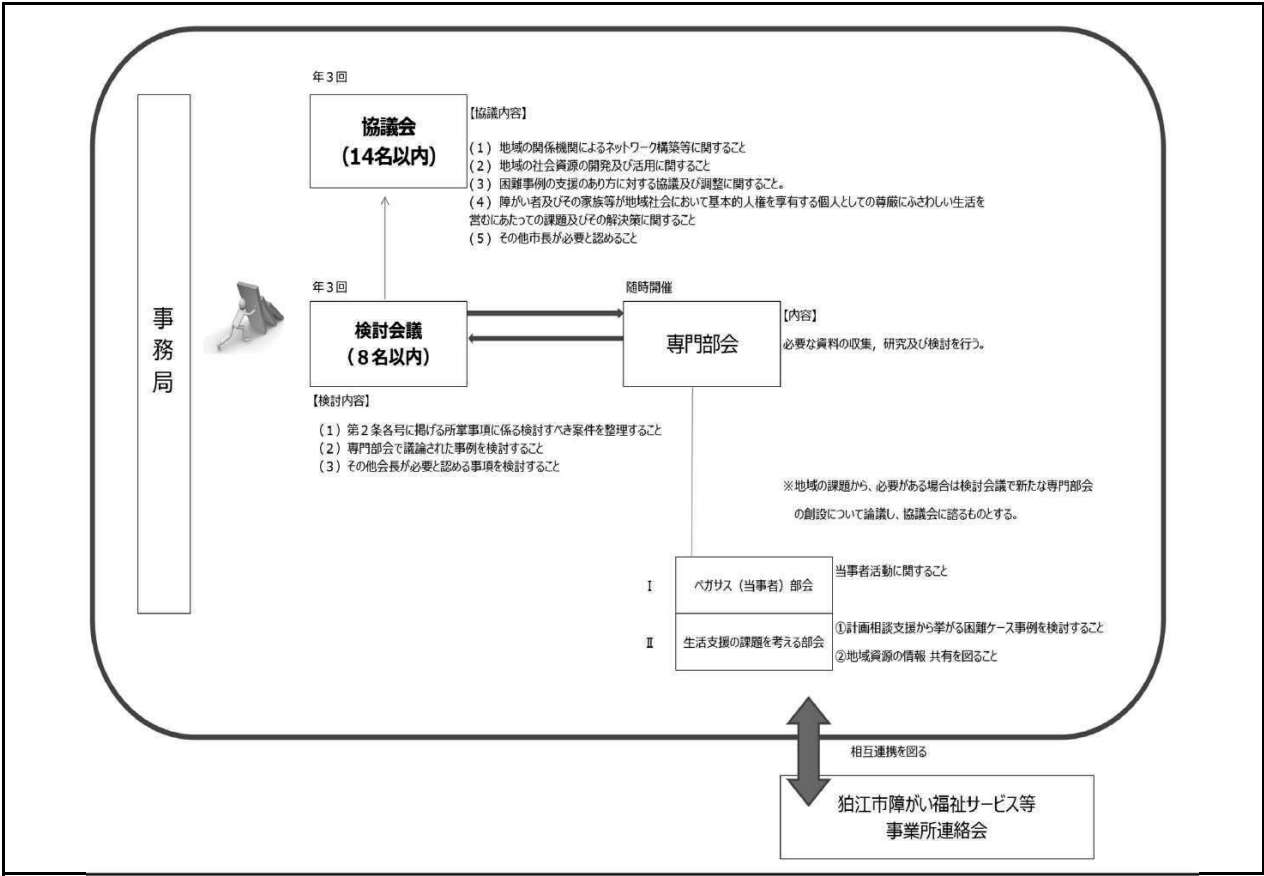


1 地域自立支援協議会の基本事項

- (1) 名称 狛江市自立支援協議会
- (2) ホームページURL <https://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/51,35067,451.html>
- (3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	集合形式	専門部会等	集合形式
-----	------	-------	------

イ 開催時間

全体会	平日夜間（業務時間外に係る時間帯）	専門部会等	平日日中（業務時間内）
-----	-------------------	-------	-------------

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験 年数
1	会長	高山 由美子	ルーテル学院大学	学識経験者		3
2	副会長	東 貴宏	NP0法人さつき会	障害福祉サービス等事業者		13
3		杉本 美恵子	狛江市民生委員・児童委員	民生委員・児童委員		1
4		森田 純司	狛江市社会福祉協議会	社会福祉協議会		3
5		近岡 真佐人	社会福祉法人足立邦栄会	障害福祉サービス等事業者		1
6		橋爪 克幸	社会福祉法人光友会	障害福祉サービス等事業者		10
7		南谷 吉輝	狛江市介護支援専門員連絡会	その他		1
8		加藤 智美	狛江市社会福祉協議会	社会福祉協議会		4
9		沼田 洋平	NP0法人ゆめぼっと	障害福祉サービス等事業者		4
10		二宮 啓子	東京都立調布特別支援学校	教育関係機関		3
11		長谷川 潤	東京都立府中けやきの森学園	教育関係機関		1
12		原 綾子	多摩府中保健所	保健所		1
13		牧 奈苗	当事者	障害当事者（ピアサポーター含む）		10
14		森井 道子	狛江市手をつなぐ親の会会長	家族・関係団体		10

(2) 委員構成

種 別	全体会・ 部会名	全体会	生活支援の課 題を 考える部会	ペガサス 当事者部会
学識経験者		1		
医療関係者		0		
保健所		1		
教育関係機関		2		
雇用関係機関		0		
企業		0		
障害当事者（ピアサポーター含む）		1		3
家族・関係団体		1		
身体・知的障害者相談員		0		
相談支援事業者		0	8	
障害福祉サービス等事業者		4		
社会福祉協議会		2		
法曹関係者		0		
民生委員・児童委員		1		
地域住民		0		
行政職員（区市町村）		0		
行政職員（都）		0		
その他		1		
計		14	8	3

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

③ 地域移行・地域定着支援に関すること。

生活支援を考える部会で抽出を行った地域課題を再検討し、協議会に報告を行った。

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

令和6年度設置予定である地域生活支援拠点や基幹相談支援センターについて協議した。

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

狛江市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画についての意見具申。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

⑤ 地域課題の整理

地域における課題の整理を行い、既存の資源を工夫して活用できるものがないのか検討を行っている。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

計画の進捗確認を行い、必要に応じて意見具申を行っている。

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

相談支援体制の充実に向けた取り組みとして、限りのあるマンパワーである相談支援専門員のスキルアップも必要な役割であると考えている。

① 情報の顕在化

生活支援を考える部会において、相談支援専門員が受けた相談内容や解決困難な事例について報告され、顕在化され、地域課題の整理に活かしている。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

② 専門部会やその他の各種連絡会等から検討が必要なものを取り上げている。

すでに事業所連絡会の一つである『子ども部会』と相談支援専門員が中心の『生活支援を考える部会』が連携し、困難事例の共有や解決の協議を行っている。

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

⑨ 教育支援

とりわけ児童期における教育との連携の強化を取り上げ、委員で協議し、連携強化を推進するように取り組んだ。

⑧ 障害児支援

現在は事業所連絡会の一つである『子ども部会』を、協議会の部会として参画する協議を行った。令和6年度の協議会で、正式に部会として参画する予定である。

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

相談支援専門員の人材については、どの区市町村も不足しているのではないかと感じています。広域における課題であると思われます。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	ある程度活性化した。	専門部会等	ある程度活性化した。
-----	------------	-------	------------

具体的な内容

全体会では、委員同士の協議を行う際に、グループワークを取り入れ、各委員の意見が活発に出やすいよう取り組んだ。
専門部会等においては、子ども部会の参画など、新たな部会の設立に向けて動く協議がなされた。

イ 活性化したと評価する理由

全体会では、参加委員が各々意見表明をしやすくなり、議論が活発化したため。
専門部会においては、市内の課題解決に向け、新たな部会（子ども部会）を作る動きが具体化してきたため。

ウ 活性化するための今後の取組

イに挙げた内容を継続・達成できるように取り組む予定。